

京都経済短期大学

履修要項

2026.07 改定版

■学籍番号：

■氏 名：

2026 年度

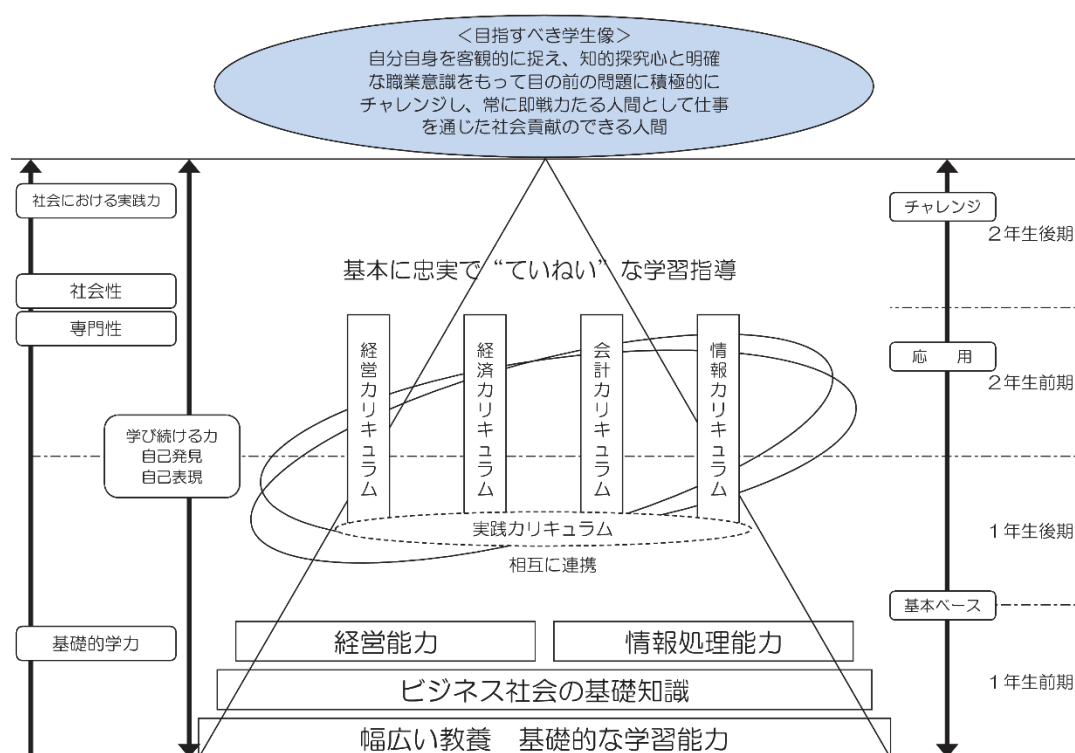
目 次

目指すべき学生像とカリキュラムポリシー	3
科目構成	4
コース制およびユニット科目	5
1年生前期の履修について	6
コース別履修モデル	
2023年度以前入学生	7
2024年度以降入学生	8
ユニット別開講科目一覧	
2024年度入学生	9
2025年度以降入学生	10
一般財団法人全国大学実務教育協会（JAUCB）が認定する資格について	11
秘書士	12
ビジネス実務士	12
情報処理士	13
上級情報処理士	13
検定資格対策科目	14
社会活動単位認定制度・資格取得単位認定制度	15
単位互換制度（大学コンソーシアム京都など）	17
「数理・データサイエンス・AI」教育プログラム	18
実践カリキュラム	20
GPAについて	21
登録単位数の制限	21
卒業に必要な単位	
2024年度以前入学生	22
2025年度入学生	23
2026年度入学生	24
目指すべき学生像とカリキュラム（科目系統図）	25
ナンバリング	26
2026年度 開講科目一覧	27

目指すべき学生像とカリキュラムポリシー

本学のカリキュラムは、幅広い教養と基礎的な学習能力、および経営学の基礎知識と情報処理能力の修得を基礎にしつつ、より高度な経営・経済・会計・情報の専門知識を獲得できるように構成されている。このようなカリキュラムは全体として、本学が掲げる「目指すべき学生像」を実現するために体系づけられている。

特に、「目指すべき学生像」の中で謳われている「明確な職業意識」や「社会貢献のできる力」は、通常の講義によって得た知識を現実の場で実践するプロセスの中でこそ身につくものである。本学ではそのような場を経験するものとして「実践カリキュラム」を設定し、通常の講義や演習を通じて得た知識や能力を確実に身につけられるようにしている。「実践を通じて知識や能力を身につける」というプロセスは、まさに現代社会で求められる能力であり、その意味でも本学のカリキュラム体系は「即戦力」となれる人材育成を目指すものとなっている。



科目構成 ※ 科目一覧の表は、この冊子の後方に掲載してあります。

本学は、経営情報学科だけの単科大学であるが、社会に対する理解と判断力を持ち自立した教養ある社会人の養成を目的としており、専門教育とともに総合科目・語学科目なども配置して、いずれも本学の教育にとって重要なものとして位置づけられている。

1. 「総合科目」

近年、学問の諸分野がますます専門化・細分化して、全体的な見通しが困難となってきた事情を反省し、文理諸科学の成果や研究方法、体育芸術などの人間としての技芸・教養を広く理解し、総合的な展望を持ち得るように配置したものである。そこで本科目は、本学開講科目と他大学等で開講される単位互換科目とで構成している。

また、短期大学の社会的使命の一つである実務能力を涵養するため、様々な資格取得を目的とした科目や、社会に出るための準備を行う就職関係科目も設置している。

2. 「語学科目」

語学関連の諸科目は、大きく英語とそれ以外の外国語との2種類からなっている。これらの外国語科目は、国際社会における必要性、教養としての必要性、経営情報学科の専門科目における必要性などの観点から設置されている。

3. 「基礎教育科目」

経営情報学科で学ぶ上での、基礎的・中心的な科目群である。いずれの系統においても専門教育の入門、および専門共通の基礎科目を配置している。また、社会において産業人として生きるための基礎力を養成する科目も配置している。したがって、学生のみなさんは、必修と同じ程度に重要な科目と位置づけて履修することが望ましい。

4. 「専門教育科目」

基礎教育科目の上に配置された、さらに専門的・応用的な経営情報学の科目群を配置している。したがって、学生のみなさんは、ただ単に単位取得の容易さなどで判断するのではなく、自分の卒業後の進路（就職・編入学）を見据えて、ある程度系統的に履修することが望ましい。

※ 「留学生科目」

本学に在学する留学生のために開講されている科目群である。本学では、アジアを中心とした諸国民との国際交流を深めるために、開学当初から留学生教育を実施している。本科目群は、こうした目的を達成するために、日本語・日本文化を修得する科目群を、総合科目・語学科目内に配置している。

コース・ユニット制

【主旨】

本学のカリキュラムにおいては、7コース（経済システム、経営・マーケティング、会計ファイナンス、国際ビジネス、情報システム、ビジネス心理、情報デザイン）と2ユニット（資格就職、大学編入）を設置している。また、大きく2つの進路（資格就職、大学編入）別に2つのユニットを設置している。

コースは本学における学修の方向性を明確にするものであり、各学生がいずれかのコースに所属し、コースごとに定められたモデルカリキュラムに従って体系的な学修を行う。コースの選択は1年生前期の学修を踏まえて行うが、コース別のモデルカリキュラムは1年生前期より設定されており、1年生前期から後期以降のコースを見越した履修をすることが望ましい。

また、1年生後期以降は専門ゼミナールが開講される。各学生は1年生前期中に専門ゼミナールを選択し、1年生後期から卒業まで、1年生前期中に選択した専門ゼミナールに所属しなければならない。従来は専門ゼミナールの選択がコース選択となっていたが、2025年度より個別に選択できるようになった。ただし、各専門ゼミナールには関連するコースが設定されており、専門ゼミナールの学修上、選択したコースの科目だけでなく、選択した専門ゼミナールにおいて教員が推薦する科目を履修することが求められる場合もある。なお、専門ゼミナールの選択は学生自身が行うが、ゼミナール定員の制約上、必ずしも希望通りのゼミナールに所属できるとは限らない。さらに、2026年度より1年生前期においてもコース別モデルカリキュラムが設定された。1年生前期から1年生後期以降の学修もイメージしながら履修することが望ましい。

ユニットは大きく2つの進路（資格就職、大学編入）別に設定されている。さらに各ユニットは細分化されており、それぞれがいくつかの科目によって構成されている。資格就職ユニットは、公務員ユニットやホテル・ブライダルユニットのように、特定の職業（業界）への就職を目的としたものと、医療事務ユニットや販売士ユニットのように、特定の資格取得を目的としたものに分かれている。大学編入ユニットは、一般受験による編入学を目指すもの（難関大学受験ユニット）と、協定校推薦による編入学を目指すもの（指定校推薦受験ユニット）に分かれている。ユニットを意識して科目を履修することにより、それぞれの進路決定に必要な知識やスキルを体系的に身につけることができる。また、ユニットは少数の科目群によって構成されており、時間割上可能であれば、複数のユニットを履修することが可能となっている。

【意義】

科目構成で述べたように、本学は単科大学ではあるが、学生のみなさんに提供している授業科目は幅広い分野にわたっている。それだけに、明確な目的意識を持たず安易に履修科目を選択すれば、2年間の学修内容に一貫性を欠き、仮に卒業単位を満たしていても必要な知識・能力を身に付けず卒業する可能性がある。しかし、コースを設けることにより、学生自身が入学後できるだけ早期に専門分野を意識し、大学で学ぶ目的を明確化できるため、安易で無目的な科目履修ではなく、専門分野や目的に応じた必要な科目を履修することができる。その結果、2年間という短い期間で専門的な知識・技能を効率よく効果的に修得できるようになる。さらに、各専門分野に応じて履修科目を絞ることにより、コース外の科目の位置付けも明確になり、各自の観点から余裕や必要に合わせて他科目を選択することができ、一般的、総合的な知識・能力も十分身につけることができる。

また、コースの履修とともにユニット科目を履修することによって、個々の進路決定および卒業後に必要な知識やスキル（資格）を効果的に修得することができる。

【選択時期】

コースおよび専門ゼミナールの時期と方法は、別途ガイダンスを設け説明する。基本的には、1年生前期の6～7月頃である。

1 年生前期の履修について

先述の通り、本学では1年生前期の6～7月頃にコースおよび専門ゼミナールの選択を行い、1年生後期以降の履修科目の選択は、各コースのモデルカリキュラム（および専門ゼミナールの推薦するカリキュラム）に沿って行う。

1年生前期は1年生後期以降の専門的な学修に備え、それらの基礎となる科目を中心に学修する。これらの科目の多くは必修科目または選択必修科目や必履修科目となっている。特に必修科目は、今後の学修に必要不可欠なものであり、この時期に単位修得しておく必要がある。また、選択必修科目は、専門的な学修に直結するものが多く、各コースのモデルカリキュラム（1年生前期）を参考にしながら、コース・専門ゼミナールの選択も念頭に入れて履修を進めることが求められる。

併せて、視野を広げる観点等から、可能な限り幅広く学修しておくことが望ましい。

< 1 年生前期 履修モデル（共通部分）>

	一般学生	留学生	備 考
必修科目	基礎ゼミナール 総合基礎英語 文書処理技能演習※1	基礎ゼミナール 日本語Ⅰ〈留〉※2 日本事情Ⅰ〈留〉 文書処理技能演習※1	
選択必修科目	経営学総論 ミクロ経済学 初級簿記 中級簿記Ⅰ※3 情報処理概論	経営学総論 ミクロ経済学 初級簿記 中級簿記Ⅰ※3 情報処理概論 簿記入門※3 時事日本語〈留〉	左記5科目 （留学生は7科目） のうち いずれか2科目以上必修
必履修科目	キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅠ	

※1 日商PC検定（文書処理）3級以上、または、Microsoft Office Specialist Word 一般レベル、エキスパートレベルの資格をすでに取得している場合、申請により単位認定を行う（履修不要）。

上記資格を近日取得予定であっても、履修登録時に取得できていなければ、履修が必要。

※2 日本語能力試験N1をすでに取得している場合、申請により単位認定を行う（履修不要）。

上記資格を近日取得予定であっても、履修登録時に取得できていなければ、履修が必要。

※3 後期開講科目。

※4 コース別履修モデルはコースモデルカリキュラム一覧を参照。

コース別履修モデル

2023年度以前入学生各コースモデルカリキュラム一覧

コース	経済システム	経営マーケティング	会計ファイナンス	国際ビジネス	総合情報
1年生 後期	マクロ経済学 統計学 会計学入門 データ分析 ファイナンス入門	経営管理論 マネジメント史 企業論 会計学入門 国際経営論	会計学入門 簿記特講Ⅱ 中級簿記Ⅰ 工業簿記 FP実務演習Ⅱ ファイナンス入門	経営管理論 企業論 マクロ経済学 会計学入門 異文化コミュニケーション TOEIC600 国際経営論	アルゴリズムとデータ構造 プログラミング入門 情報デザイン コンピュータグラフィックス フィジカルコンピューティング 会計学入門
1年生 春期					
2年生 前期	行動経済学 社会心理学 データ分析 財務分析論 金融論*1年配当科目	中小企業論 経営組織論 人的資源管理論 経営戦略論 イノベーション論 財務分析論 金融論*1年配当科目	財務会計論 原価計算論 中級簿記Ⅱ 財務分析論 金融論*1年配当科目	財務分析論 TOEIC800 観光概論 金融論*1年配当科目	情報セキュリティ 情報ネットワーク プログラミング実践
2年生 夏期					
2年生 後期	国際経済学 流通論	マーケティング論 流通論	税務会計論 管理会計論	マーケティング論 流通論 国際経済学	データベース論 システム設計

2024年度以降入学生各コースモデルカリキュラム一覧

コース	経済システム	経営・マーケティング	会計ファイナンス	国際ビジネス	情報システム	ビジネス心理	総合デザイン
1年生 前期	ミクロ経済学	経営学総論 初級簿記 地域企業論	経営学総論 初級簿記	経営学総論 ミクロ経済学 初級簿記 異文化コミュニケーション	情報処理概論	経営学総論 心理学	情報処理概論 アート鑑賞論
1年生 後期	マクロ経済学 統計学 会計学入門 ファイナンス入門 金融論	経営管理論 マネジメント史 企業論 会計学入門 金融論	会計学入門 中級簿記Ⅰ 中級簿記Ⅱ 工業簿記 ファイナンス入門 企業論 経営管理論 金融論	経営管理論 企業論 マクロ経済学 会計学入門	アルゴリズムとデータ構造 プログラミング入門 情報デザイン概論 ウェブデザインⅠ 統計学	心理学 統計学 経営管理論	情報デザイン概論 ウェブデザインⅠ デジタルデザイン演習Ⅰ メディア表現演習 統計学 プログラミング入門
2年生 前期	行動経済学 環境経済学 データ分析	経営組織論 人的資源管理論 経営戦略論 イノベーション論 財務分析論	財務会計論 原価計算論 中級簿記Ⅱ 財務分析論	経営組織論 人的資源管理論 経営戦略論 財務分析論 観光概論	情報セキュリティ 情報ネットワーク プログラミング実践 ウェブデザインⅡ データ分析	社会心理学 行動経済学 データ分析 感性評価入門 経営組織論 人的資源管理論 経営戦略論	ウェブデザインⅡ 感性評価入門 行動経済学 社会心理学 イノベーション論 プログラミング実践 データ分析
2年生 後期	国際経済学 ファイナンス入門 ※ 金融論 ※	マーケティング論 流通論 国際経営論	税務会計論 管理会計論	マーケティング論 流通論 国際経営論 国際経済学	データベース論 システム設計	マーケティング論 消費者心理学	マーケティング論 消費者心理学

※ 1、2年次配当科目

ユニット別開講科目一覧

2024年度入学生

ユニット			1 年生				2 年生	
			前期	夏期集中	後期	春期集中	前期	後期
大学編入	難関大学受験		TOEIC500 基礎数学Ⅰ		経営講読Ⅰ 経済講読Ⅰ 編入対策特講Ⅰ 編入対策英語Ⅰ TOEIC600 基礎数学Ⅱ		経営講読Ⅱ 経済講読Ⅱ 編入対策特講Ⅱ（小論文） TOEIC800	
	指定校推薦受験	共通			編入対策特講Ⅰ			
		経営・商	経営学総論					
		経済	ミクロ経済学		マクロ経済学			
		情報	情報処理概論					
		会計	初級簿記					
資格就職	公務員		公務員試験対策講座					
	ホテル・ブライダル			ホテル・ブライダル業界対策Ⅰ		ホテル・ブライダル業界対策Ⅱ		
	医療事務			医療事務技能演習				
					秘書学概論 秘書学実務演習Ⅰ	秘書学実務演習Ⅱ		
	登録販売者		登録販売者実務演習					
	秘書		ビジネス文書表現 ビジネス実務マナー		秘書学概論 秘書学実務演習Ⅰ	秘書学実務演習Ⅱ	プレゼンテーション	
	簿記		初級簿記	簿記特講Ⅰ	簿記特講Ⅱ 中級簿記Ⅰ 工業簿記		中級簿記Ⅱ 原価計算論	
	販売士		ビジネス実務マナー		販売実務			
	ファイナンシャルプランニング技能士		FP実務演習Ⅰ		FP実務演習Ⅱ			
	宅地建物取引士		宅建士実務演習Ⅰ	宅建士実務演習Ⅱ	宅建士実務演習Ⅲ			
	日商PC		文書処理技能演習 ビジネス文書表現		表計算技能演習			
	MOS		文書処理技能演習		表計算技能演習			
	ITパスポート		情報処理概論 経営学総論		システム総合特講Ⅰ 会計学入門		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ	
	基本情報技術者		情報処理概論		システム総合特講Ⅰ プログラミング入門 アルゴリズムとデータ構造		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ プログラミング実践	
	情報セキュリティマネジメント		情報処理概論		システム総合特講Ⅰ		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ	
	ウェブデザイン技能士				情報デザイン ウェブデザイン入門		情報ネットワーク 情報セキュリティ	
	TOEIC		TOEIC500		TOEIC500 TOEIC600		TOEIC800	

2025年度以降入学生

ユニット			1 年生				2 年生	
			前期	夏期集中	後期	春期集中	前期	後期
大学編入	難関大学受験		TOEIC500 基礎数学Ⅰ		経営講読Ⅰ 経済講読Ⅰ 編入対策特講 編入対策英語Ⅰ TOEIC600 TOEIC500 基礎数学Ⅱ		経営講読Ⅱ 経済講読Ⅱ 編入対策特講（小論文） TOEIC800	
	指定校推薦受験	共通			編入対策特講			
		経営・商	経営学総論					
		経済	ミクロ経済学		マクロ経済学			
		情報	情報処理概論					
資格就職	公務員		公務員試験対策講座					
	ホテル・ブライダル			ホテル・ブライダル業界概論Ⅰ	ホテル・ブライダル業界対策Ⅱ			
	医療事務			医療事務技能演習				
					秘書学概論 秘書学実務演習Ⅰ	秘書学実務演習Ⅱ		
	登録販売者		登録販売者実務演習					
	秘書		ビジネス文書表現 ビジネス実務マナー		秘書学概論 秘書学実務演習Ⅰ	秘書学実務演習Ⅱ	プレゼンテーション	
	簿記		初級簿記	簿記特講Ⅰ	簿記特講Ⅱ 中級簿記Ⅰ 中級簿記Ⅱ 工業簿記		中級簿記Ⅱ 原価計算論	
	販売士		ビジネス実務マナー		販売実務			
	ファイナンシャルプランニング技能士		FP実務演習Ⅰ		FP実務演習Ⅱ			
	宅地建物取引士		宅建士実務演習Ⅰ	宅建士実務演習Ⅱ	宅建士実務演習Ⅲ			
	日商PC		文書処理技能演習 ビジネス文書表現		表計算技能演習			
	MOS		文書処理技能演習		表計算技能演習			
	ITパスポート		情報処理概論 経営学総論		システム総合特講Ⅰ 会計学入門		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ	
	基本情報技術者		情報処理概論		システム総合特講Ⅰ プログラミング入門 アルゴリズムとデータ構造		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ プログラミング実践	
	情報セキュリティマネジメント		情報処理概論		システム総合特講Ⅰ		システム総合特講Ⅱ 情報セキュリティ	
	ウェブデザイン技能士				情報デザイン ウェブデザインⅠ		情報ネットワーク 情報セキュリティ	
	TOEIC		TOEIC500		TOEIC600 TOEIC500		TOEIC800	

一般財団法人全国大学実務教育協会（JAUCB）が認定する資格について

検定試験等による資格とは異なり、京都経済短期大学の定めた科目を履修、修得することで誰でも授与される資格で、以下の4つの資格があります。

就職活動においても、履歴書の資格欄に取得見込みと書くことが出来ますので、面接試験で自己アピールすることができます。

あなたの未来を、自身をもって、自分の力で切り拓いてください。

1. 本学で取得可能な資格

（１）秘書士

秘書としての技能とビジネス実務能力を身につけます。

（２）ビジネス実務士

経済社会で即戦力となれるビジネスプロの能力修得を目指します。

（３）情報処理士

変革する社会へのアプローチ。業務の課題を解決するための最新の情報活用能力を身につけます。

（４）上級情報処理士

インターネット活用、データ管理及び統計分析などを行う総合的な実践力を修得し、高度な情報実務能力を発揮し、問題の発見と解決に貢献し、チームの機動力を強化できる人材です。

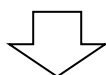
2. 資格取得までの流れ

次ページにある京都経済短期大学の規定の科目・単位を履修

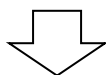
《10月頃》

取得要件を満たす見込みのある資格について、申請書類を記入、提出。

申請手数料を納付（1年後期時点で申請できるのは情報処理士のみ）



必要単位数を履修・修得し、到達目標を達成する



資格取得

《3月》資格認定証受け取り。

3. JAUCBカリキュラム

(1) 秘書士 ※は集中授業科目

領域	必修	1 年生		2 年生		必要単位数	
	選択	前期	後期	前期	後期		
領域 1	必修	基礎ゼミナール				2 単位 以上	16 単位 以上
	選択	プロジェクト演習Ⅰ ヒューマン・コミュニケーション 現代社会事情	プロジェクト演習Ⅱ	プロジェクト演習Ⅲ	プロジェクト演習Ⅳ 地域産業論		
領域 2	必修		秘書学概論 秘書学実務演習Ⅰ 秘書学実務演習Ⅱ※			2 単位 以上	
	選択	ビジネス実務マナー ビジネス文書表現 文書処理技能演習 ビジネスコミュニケーションスキル※	表計算技能演習 文書処理技能演習	プレゼンテーション			
領域 3	必修		ゼミナールⅠ	ゼミナールⅡ		2 単位 以上	
	選択	キャリアプランニングⅠ 社会活動単位認定制度	キャリアプランニングⅡ キャリアプランニング特講※ 社会活動単位認定制度	キャリアプランニングⅢ 社会活動単位認定制度 社会活動単位認定制度			

(2) ビジネス実務士 ※は集中授業科目

領域	必修	1 年生		2 年生		必要単位数	
	選択	前期	後期	前期	後期		
領域 1	必修	基礎ゼミナール				2 単位 以上	10 単位 以上
	選択	プロジェクト演習Ⅰ	プロジェクト演習Ⅱ	プロジェクト演習Ⅲ	プロジェクト演習Ⅳ		
	必修	キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅡ				
	選択	現代社会事情 社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度		
領域 2	必修	ビジネス文書表現 ビジネス実務マナー 文書処理技能演習	ビジネス実務概論 文書処理技能演習			2 単位 以上	
	選択	経営学総論	経営学総論	経営戦略論	地域産業論		
		情報倫理	経営管理論	人的資源管理論	マーケティング論		
		ヒューマン・コミュニケーション ビジネスコミュニケーションスキル*	企業論 会計学入門 販売実務 表計算技能演習	原価計算論 財務会計論 経営組織論 プレゼンテーション	流通論 生産管理論		
領域 3	選択		ゼミナールⅠ	ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ	2 単位 以上	
	必修						
	選択		キャリアプランニング特講*				

(3) 情報処理士 ※は集中授業科目

領域	必修	1 年生		2 年生		必要単位数	
	選択	前期	後期	前期	後期		
領域 1	必修	情報処理概論 文書処理技能演習 基礎ゼミナール	情報処理概論 文書処理技能演習			2 単位 以上	10 単位 以上
	選択	情報倫理	ウェブデザインⅠ	情報セキュリティ プレゼンテーション			
領域 2	選択 必修		プログラミング入門	情報ネットワーク		2 単位	
	選択		表計算技能演習	プログラミング実践	データベース論	以上	
領域 3	選択 必修		ゼミナールⅠ	ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ	2 単位 以上	
	選択	キャリアプランニングⅠ プロジェクト演習Ⅰ 社会活動単位認定制度	キャリアプランニングⅡ キャリアプランニング特講※ プロジェクト演習Ⅱ 社会活動単位認定制度	プロジェクト演習Ⅲ 社会活動単位認定制度	プロジェクト演習Ⅳ 社会活動単位認定制度		

(4) 上級情報処理士 ※は集中授業科目

領域	必修	1 年生		2 年生		必要単位数	
	選択	前期	後期	前期	後期		
領域 1	必修	情報処理概論	情報処理概論			2 単位 以上	24 単位 以上
		文書処理技能演習	文書処理技能演習				
	基礎ゼミナール						
選択	情報倫理	ウェブデザインⅠ	情報セキュリティ				
領域 2	必修		プログラミング入門			4 単位 以上	
	選択			情報ネットワーク			
	選択		表計算技能演習	プログラミング実践	データベース論		
	必修		アルゴリズムとデータ構造				
領域 3	必修		ゼミナールⅠ	ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ	2 単位 以上	
	選択	キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅡ	プレゼンテーション			
		プロジェクト演習Ⅰ	プロジェクト演習Ⅱ	プロジェクト演習Ⅲ	プロジェクト演習Ⅳ		
		社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度	社会活動単位認定制度		

【資格検定対策科目】

本学では、就職活動や将来を見据え、学生の資格取得を積極的に支援するため、以下の科目を開講している。また2014年度より、指定した科目群の単位を修得することで、卒業時に申請することができる、公的資格課程も設置している。

これらの資格は、就職活動や実際に社会に出た後に役立つものであり、積極的に取得を目指してほしい。特に就職関係科目と併せて履修することが望ましい。

また、編入希望者であっても、編入後は単位修得と就職活動のために余裕が少なく、資格取得のための学習時間が確保できない可能性がある。そのため、編入学希望であっても、積極的な資格取得が望まれる。

<資格検定対策科目>

資格	1年生前期	1年生後期	2年生前期	2年生後期
ビジネス文書検定3級	ビジネス文書表現（前半）			
ビジネス実務マナー検定3級	ビジネス実務マナー（後半）			
秘書検定3級		秘書学実務演習Ⅰ		
秘書検定2級		秘書学実務演習Ⅱ（春期）		
医療事務作業補助者 実務能力認定試験		医療事務技能演習（夏期～後期）		
登録販売者	登録販売者実務演習			
日商リテールマーケティング（販売士）検定3級		販売実務		
日商簿記検定3級	初級簿記	簿記特講Ⅰ（夏期） 簿記特講Ⅱ（前半）		
日商簿記検定2級 （進度早いクラス）		中級簿記Ⅰ（前半）※1 中級簿記Ⅱ（後半）※1 工業簿記※2	原価計算論※2	
日商簿記検定2級 （進度遅いクラス）		中級簿記Ⅰ（後半）※1 工業簿記※2	中級簿記Ⅱ※1 原価計算論※2	
宅地建物取引士資格試験	宅建士実務演習Ⅰ（後半）	宅建士実務演習Ⅱ（夏期） 宅建士実務演習Ⅲ（前半）		
3級ファイナンシャル・プランニング技能検定	F P実務演習Ⅰ	F P実務演習Ⅱ		
日本語検定3級	日本語の技法			
TOEIC	TOEIC500	TOEIC600 TOEIC500	TOEIC800 TOEIC600	
ITパスポート試験		システム総合特講Ⅰ	システム総合特講Ⅱ	
日商PC検定3級 （文書作成）	文書処理技能演習			
日商PC検定3級 （データ活用）		表計算技能演習		
ウェブデザイン技能士		システム総合特講Ⅰ 情報デザイン ウェブデザインⅠ		

※1 商業簿記

※2 工業簿記

社会活動単位認定制度・資格取得単位認定制度

本学が掲げる「目指すべき学生像」の中にある「即戦力たる人間」の育成には、基礎的な能力養成、社会性の涵養が重要である。これらの科目は、授業に出席し、教員より指示される課題に取り組むだけで単位修得することはできない。自ら課題を見つけ、積極的にチャレンジすることが求められる。

➤ 社会活動単位認定制度

地域でのボランティア活動を通じて多様な価値観の人間と交流することによって、社会性の向上を目指すと同時に、活動を通じて「地域社会の一員として活動することの大切さ」を実践的に学ぶ科目である。単位認定のためには、20時間以上の実践活動を行い、申請を行うこと。

<申請方法>

① 活動を実施

認定対象活動を行い、活動状況を活動記録書に記入し、担当者に確認（押印）してもらってください。

② 活動を申請

これまでの活動をレポートにまとめ（活動報告書）、活動記録書とともに各期の締切期日までに提出してください。

申請期日と対象となる期間

前期申請 締め切り 2026年8月4日（火）17時

認定対象となる活動期間 1年生 2026年4月1日～8月4日

2年生 2026年1月30日～8月4日

後期申請 締め切り 2027年2月2日（火）

認定対象となる活動期間 1年生 2026年4月1日～2027年2月2日

2年生 2026年1月30日～2027年2月2日

➤ 資格取得単位認定制度

検定資格を取得したことをもって、本学の単位を修得したと認定する科目である。単位認定のためには、資格を取得し、必要な申請手続きを行う必要がある。入学前に対象となる資格を取得している場合は、届出手続きのみで単位認定が行われる。

認定される資格は別表の通りであるが、掲載されていない資格を取得し、単位認定を希望する場合は、学生支援課にて確認しておく必要がある。ただし、本科目は本学の卒業単位であるため、認定される資格は本学設置学科との関連性が必要である。また、全国商業高等学校協会（全商）資格等、高校レベルの資格については認定されない。

なお認定可能な資格には、合格に必要な学修時間や合格難易度等を踏まえて、3つの基準が設定されている。また単位認定は、それぞれの基準において、卒業までに1資格のみ可能（本制度にて認定可能な単位数は最大3単位）となっている。

また本制度とは別に、特定の資格を取得し、申請することで、奨学金が支給される制度（京都経済短期大学教育後援会 資格取得等支援奨学金）もある。

<申請方法>

① 検定の合格

申請対象検定の合格証等をコピーしてください。（本学入学前に合格したものでも申請可能です）

② 申請書類の提出

申請書類に必要事項を記入した上、合格証等のコピーを添えて締切期限（各期定期試験初日17時）までに提出してください。

<認定資格一覧>

資格名称	A基準	B基準	C基準
日商簿記検定	3級	2級	1級
日商PC検定（文書作成）	3級以上	1級	
日商PC検定（データ活用）	3級以上	1級	
秘書検定	3級	2級以上	
TOEIC L&R 公開テスト	400 以上	630 以上	800 以上
Microsoft Office Specialist Word	取得		
Microsoft Office Specialist Excel	取得		
ビジネス文書検定	3級		
ビジネス実務マナー検定	両方取得		
ビジネス文書検定	2級	1級	
ビジネス実務マナー検定	2級	1級	
サービス接遇検定	2級	1級	
ファイナンシャル・プランニング技能検定	3級	2級	1級
ITパスポート試験	取得		
基本情報技術者試験		取得※1	取得※2
情報セキュリティマネジメント試験		取得	
ウェブデザイン技能検定	3級	2級	1級
日商リテールマーケティング（販売士）検定	3級	2級	1級
日本語検定	準2級以上	準1級以上	
日本語能力試験（留学生）		N1 取得	
Jテスト（留学生）	800 以上	900 以上	930 以上
宅地建物取引士			取得
2級医療秘書実務能力認定試験	取得		

例）単位修得はより上位のものを優先とし、1回のみとなります（最大3単位まで）

例1）A基準資格を取得して申請した後、B基準資格を取得して申請した場合

A基準認定：1単位 B基準認定：1単位 ⇒ 合計2単位

例2）A基準資格を取得（申請）せず、B基準資格を取得して申請した場合

B基準認定：2単位 ⇒ 合計2単位

例3）A基準資格を取得して申請した後、C基準資格を取得して申請した場合

A基準認定：1単位 C基準認定：2単位 ⇒ 合計3単位

※1 2020年3月までに取得した場合

※2 2020年4月以降に取得した場合

単位互換制度（大学コンソーシアム京都など）

単位互換制度とは、他の大学・短期大学において修得した授業科目の単位を自大学の単位として修得したものとみなされる制度です。

本学の学生は、「大学コンソーシアム京都」という大学連携の団体に所属している学校等の授業を受けることができます。

提供されている科目の内容、シラバスの確認や、登録等は、大学コンソーシアム京都のウェブサイトを利用して行います。

大学コンソーシアム京都 単位互換事業のサイト

<https://www.consortium.or.jp/project/tg/details>

科目内容・レベルに関わらず、本学の卒業要件単位としては「総合科目」としてカウントします。学則に定められている「15単位」が本学での単位認定の上限です。

<登録の時期と流れ>

最初に京カレッジポータルサイトに登録

<https://tg-kyoto.consortium.or.jp/>

↓

出願手続

オンラインで出願後、出願票を学生支援課まで提出

出願期間

前期 4月1日（水）～4月2日（木） 17時まで

後期 8月29日（土）～9月8日（火） 17時まで

※前期の登録期間に、後期の科目の登録もする学校もあります。

※後期の履修登録期間は、本学の夏休み中に設定されるので希望者は要注意。

※原則として本学の授業が優先。

※出願先の大学による選考あり。

※履修が認められた科目については、必ず受講すること。

※1回生前期は、本学の授業を最優先するため、単位互換制度の利用はお勧めしません。

「広域単位互換制度」については、大学コンソーシアム京都のサイトをご覧ください。

「数理・データサイエンス・ＡＩ」教育プログラム

- 「数理・データサイエンス・ＡＩ」教育プログラムとは
「数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度」（以下「認定制度」という。）とは、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・ＡＩに関する、大学（短期大学含む）・高等専門学校（以下、「大学等」という。）の正規の課程の教育プログラムのうち、一定の要件を満たした優れた教育プログラムを文部科学大臣が認定／選定することによって、大学等が数理・データサイエンス・ＡＩ教育に取り組むことを後押しする制度です。
京都経済短期大学は経営情報学科を設置し、高度情報化社会に対応した産業人の育成に取り組んでおり、本プログラムへの申請を予定しています。２０２５年度は以下のプログラムに定められた科目を修得したみなさんに、プログラム修了認定証を発行します。
- プログラムの目的
京都経済短期大学では、高度情報化社会において活躍できる個性豊かな２１世紀の産業人の育成を目指し、日常の生活やビジネスの場で応用できる「数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム」を編成しています。
- プログラムの名称
京都経済短期大学 数理・データサイエンス教育プログラム
- 対象
２０２５年度以降入学生
- プログラムの構成
「情報処理概論」（２単位）
「統計学」（２単位）
- プログラムの修了要件
「情報処理概論」（２単位）、「統計学」（２単位）、計４単位を取得すること。
- プログラムの学修成果（学生が身につけられる能力）
高度情報化社会において、様々なデータやＡＩ等のＩＣＴ技術を日常の生活やビジネスの場で使いこなすための基礎的素養を身につける。
 - ① 現代社会において、データサイエンス・ＡＩの必要性を理解する。
 - ② データやＡＩが社会において活用されている事例を理解する。
 - ③ データやＡＩを扱う上での留意事項を理解し、適切な利用ができる。
 - ④ データを適切に収集・整理し、それらを分析し、活用するための基礎的な技術を身につける。

➤ プログラム構成科目の授業内容 ※ 詳細は各科目のシラバスを参照

科目名	担当教員	開講年次	単位数	授業の到達目標	授業の内容
情報処理 概論	小路真木子 森崎巧一	1 年次	2 単位	ニュースなどで見かける用語や、身の回りにある機器について、説明や適切な利用ができる。 コンピュータの仕組みについて理解し説明することができる。 IT パスポート試験の問題が解ける。	世の中で利用されている情報技術についての最新知識と、コンピュータの仕組みの基礎について学ぶ。レベル的には IT パスポート試験相当。今後学ぶ情報系専門科目の概要紹介にもなる。 現代社会においては、誰もがコンピュータやネットワークを利用し、情報処理を行っている。その仕組みや動向を知ること、適切かつ効果的な利用ができるようになることを目指す。
統計学	岡村靖人	1 年次	2 単位	記述統計・推測統計について理解できている。 データの種類とその表現方法を理解できている。 相関分析について理解できている。	記述統計・推測統計に関する基礎的な内容について紹介し、データを用いて実証的に考える基礎を講義する。

➤ スケジュール

2026.04 前期履修登録
 2026.08 前期成績発表
 2026.09 後期履修登録
 2027.02 後期成績発表
 2027.03 プログラム修了認定証発行

実践カリキュラム

【プロジェクト演習】

プロジェクト演習とは、学生が自発的・自主的に組織、企画し、自らの計画と方向によって運営し、本学の核となる授業を実践に活かしながら、自ら学び続ける力をつける学習活動である。またその経過と成果を公表することによって本学の独自性を明らかにし、学生の実務能力を伸張することを目的としている。

そのため、毎回の授業に参加するだけでなく、授業時間外や学外において、様々な活動に参加することが求められる。また、自ら課題を見つけ、その解決のために必要なことを学び、具体的に行動することが求められる。

プロジェクト演習は每期登録することが可能となり、単位認定も各期に行われるが、その科目特性上、できるだけ継続的に履修することが望ましい。

なお、履修登録方法等は次の通りである。

➤ 履修登録方法

- 1) 初回授業に参加し、説明を聞いた上で履修の可否を決め、担当教員に伝える。
- 2) 担当教員より履修が認められた場合は、履修の追加・訂正期間に学生支援課にて追加の手続を行う。
 - ※1 参加者多数の場合は、選考を行う場合がある。
 - ※2 説明を聞いた上で登録を行うため、通常の履修登録（Web）では登録できない。
 - ※3 開講プロジェクトについてはシラバスより確認ができる。

➤ 2026年度開講プロジェクト シラバスを参照

GPAについて

GPA（Grade Point Average）とは、成績評価を以下の計算式でスコア化した、成績評価の平均値である。この数値が一定基準以上の場合は、次学期の登録単位数上限が緩和される（詳細は次項参照）。また、この数値が一定基準に満たない場合は、進級ができなかったり、奨学金等の受給に影響があったりする場合がある。

$$\frac{(\text{S評価単位数} \times 4) + (\text{A評価単位数} \times 3) + (\text{B評価単位数} \times 2) + (\text{C評価単位数} \times 1)}{\text{総修得単位数}}$$

登録単位数の制限

キャンパスガイドでも説明している通り、大学の学修は授業と自習の両方を行うことで理解できる、高度な内容である。そのため、むやみに多くの科目を履修しても十分な学習時間が取れず、修得すべき内容を理解することが困難である。そこで次の表のように、各期に登録できる単位数に制限を設ける。

なお、2年生後期は、既に卒業に必要な単位数を修得し、必修科目以外の履修をしない学生がいるが、2年間の学修の完結となる科目を配置している時期であり、一定の学修をすることが求められる。

<登録単位数の制限一覧表>

時 期	1 年次前期	1 年次後期	2 年次前期	2 年次後期
制限単位数	27 単位	24 単位	24 単位	24 単位
GPAが 基準以上の場合※		+3 単位	+3 単位	+3 単位

※ 1 年生後期以降、その前学期末のGPAが基準（2.7）以上の場合は、通常の制限単位より3単位分多く（27単位まで）登録可能。

卒業に必要な単位

【2024年度以前入学生】

◆一般学生

	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目		総合基礎英語	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学	中級簿記Ⅰ
	上記5科目のうち2科目以上修得			
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計46単位以上	
	64単位以上			

◆留学生

	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目	日本事情Ⅰ〈留〉 異文化コミュニケーション	日本語Ⅰ〈留〉☆ 日本語Ⅱ〈留〉 日本語Ⅲ〈留〉	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学	中級簿記Ⅰ
			上記5科目のうち2科目以上修得	
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計46単位以上	
	64単位以上			

※ 卒業見込証明書は、原則として2年生の4月から発行する。なお、その時点で修得要卒単位数が20単位未満の場合は発行しない。また、2年生後期履修登録時点で卒業の見込みが立たない場合も発行しない。

★ 日商PC検定（文書処理）3級以上、または、Microsoft Office Specialist Word 一般レベルかエキスパートレベルを取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

☆ 日本語能力試験N1を取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

卒業に必要な単位

【2025年度入学生】

◆一般学生

	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目		総合基礎英語	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学	中級簿記Ⅰ
	上記5科目のうち2科目以上修得			
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計46単位以上	
	64単位以上			

◆留学生

	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目	日本事情Ⅰ〈留〉 異文化コミュニケーション	日本語Ⅰ〈留〉☆ 日本語Ⅱ〈留〉 日本語Ⅲ〈留〉	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学 簿記入門 時事日本語〈留〉	中級簿記Ⅰ
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計46単位以上	
	64単位以上			

※ 卒業見込証明書は、原則として2年生の4月から発行する。なお、その時点で修得要卒単位数が20単位未満の場合は発行しない。また、2年生後期履修登録時点で卒業の見込みが立たない場合も発行しない。

★ 日商P C検定（文書処理）3級以上、または、Microsoft Office Specialist Word 一般レベルかエキスパートレベルを取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

☆ 日本語能力試験N1を取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

卒業に必要な単位

【2026年度入学生】

◆一般学生

	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目		総合基礎英語	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学	中級簿記Ⅰ
	上記5科目のうち2科目以上修得			
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計42単位以上	
	64単位以上			

◆留学生

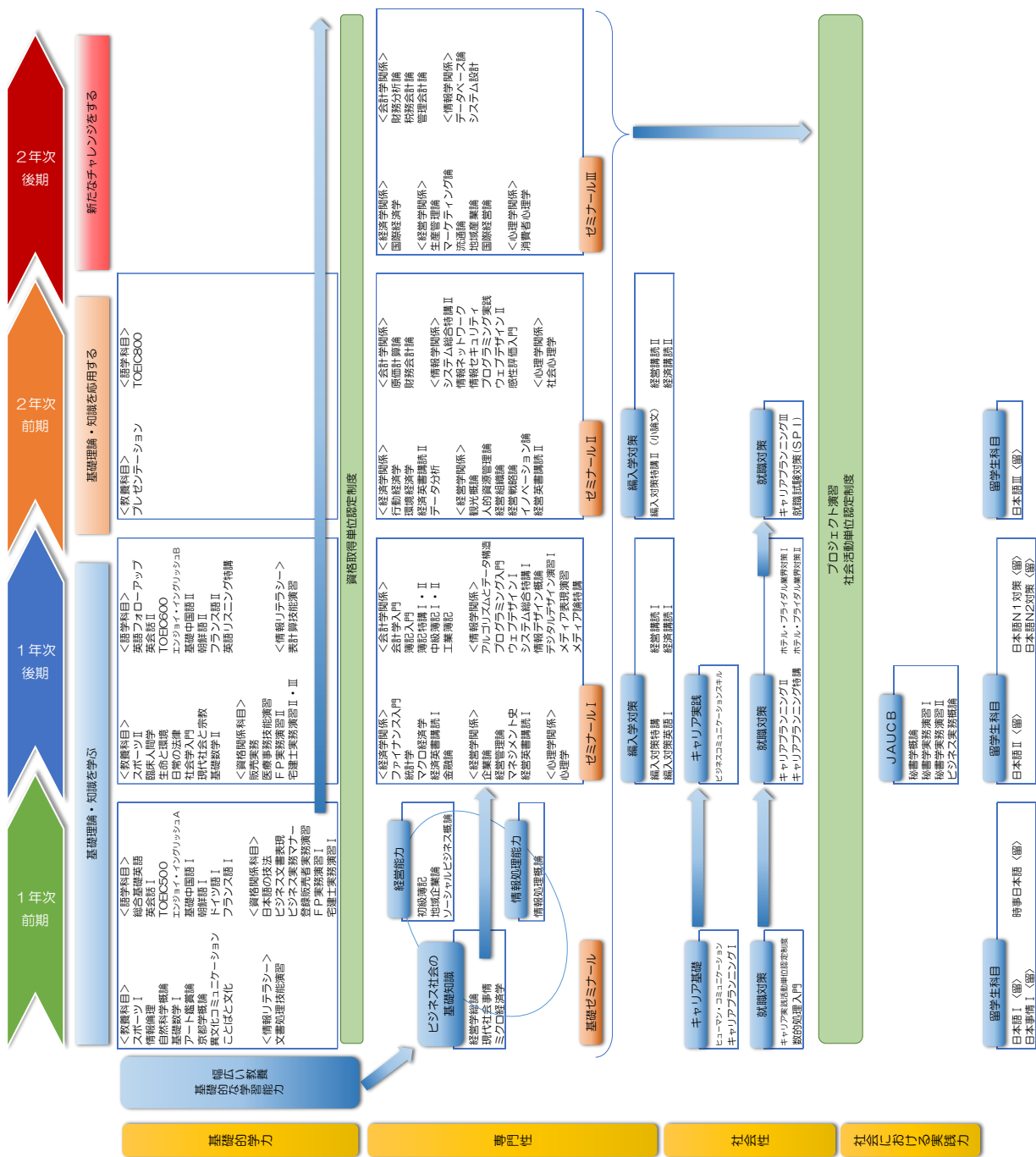
	総合科目	語学科目	基礎教育科目	専門教育科目
必修科目	日本事情Ⅰ〈留〉 異文化コミュニケーション	日本語Ⅰ〈留〉☆ 日本語Ⅱ〈留〉 日本語Ⅲ〈留〉	基礎ゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 文書処理技能演習★	
選択必修科目			経営学総論 初級簿記 情報処理概論 ミクロ経済学 簿記入門 時事日本語〈留〉	中級簿記Ⅰ
卒業に必要な単位	6単位以上	4単位以上	20単位以上	16単位以上
	2分野合計12単位以上		2分野合計42単位以上	
	64単位以上			

※ 卒業見込証明書は、原則として2年生の4月から発行する。なお、その時点で修得要卒単位数が20単位未満の場合は発行しない。また、2年生後期履修登録時点で卒業の見込みが立たない場合も発行しない。

★ 日商P C検定（文書処理）3級以上、または、Microsoft Office Specialist Word 一般レベルかエキスパートレベルを取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

☆ 日本語能力試験N1を取得した者については、所定の申請を行うことで履修を免除し、単位認定を行う（資格取得単位認定制度への同時申請は不可）。

目指すべき学生像とカリキュラム（科目系統図）



「シラバス」は、講義概要・到達目標・授業内容・テキスト・参考文献・評価方法などについて記した授業計画書のことで、どの科目を履修するかを決める際や受講時の学修確認等に利用する重要な手引きです。Webシラバスとともに熟読のうえ、1年間の履修計画を立ててください。特に、前期・後期の履修時には、モデルコースや卒業要件の確認を併せて行い、履修もれのないようにしてください。

なお、履修に関することは、その都度ガイダンスや掲示によって、詳細な説明や提出書類などを指示しますので、各自で確認してください。

ナンバリング

授業科目に科目区分、分野・レベル等に応じて特定のコード・ナンバーを付与し、履修要項・シラバス等に記載している。体系的な教育プログラムの実現を目的とし、学びたい分野についてナンバリングを確認し、レベル等の把握や体系的に学修していけるような履修計画を立てるようにしましょう。

【ナンバリング表】

科目区分	学問分野	水準

※例：基礎ゼミナール 基共 01 ※レベル（水準）を 01 の場合

■科目区分

科目区分	コード
総合科目	総
語学科目	語
基礎教育科目	基
専門教育科目	専

■分野

学問分野	コード
共通	共
経営	営
経済	済
会計	会
情報	情
心理	心
語学	語
実践	実
留学生	留
資格	資
キャリア	キ
編入学	編

■レベル（水準）

科目区分	コード
入学前レベル	00
基礎的、入門レベル	01
発展的、応用レベル	02
実践的、専門レベル	03

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
総合	総共00	数的処理入門	選択	非要卒	就職	全	前期	2		伊藤 宏聡	
総合	総共01	スポーツⅠ	選択	要卒		全	前期	1	40	岩倉 真紀子	人数超過の場合は抽選。
総合	総共01	スポーツⅡ	選択	要卒		全	後期	1	40	岩倉 真紀子	人数超過の場合は抽選。
総合	総共01	基礎数学Ⅰ	選択	要卒		全	前期	2		髙部 拓郎	
総合	総共02	基礎数学Ⅱ	選択	要卒		全	後期	2		髙部 拓郎	「基礎数学Ⅰ」または、高等学校「数学Ⅱ」を履修していることが望ましい。
総合	総共01	日本語の技法	選択	要卒		全	前期	1	50~55	植村 健志	日本語検定（6月実施）の3級程度の能力を養成。 人数超過の場合は抽選。
総合	総共01	ヒューマン・コミュニケーション	選択	要卒		全	前期	2		佐藤 泰子	
総合	総共01	臨床人間学	選択	要卒		全	後期	2		佐藤 泰子	「ヒューマン・コミュニケーション」を履修していることが望ましい。
総合	総共01	アート鑑賞論	選択	要卒		全	前期	2	50程度	森崎 巧一	アートやデザインを学ぶことに意欲的な学生を対象。 旧科目名「アートとデザイン」
総合	総共01	京都学概論	選択	要卒		全	前期	2		伊藤 一彦	
総合	総共01	自然科学概論	選択	要卒		全	前期	2		小路 真木子	
総合	総共01	日常の法律	選択	要卒		全	後期	2		北野 隆志	
総合	総共01	社会学入門	選択	要卒		全	後期	2		藤田 博文	
総合	総共01	現代社会と宗教	選択	要卒		全	後期	2		江 優子	
総合	総共01	生命と環境	選択	要卒		全	後期	2		西川 完途	高校程度の基本的な生物学の知識があると望ましい。
総合	総共02	ビジネスコミュニケーションスキル	選択	要卒		全	夏期	2		高田 誠	全出席（病欠を除く）すること。旧科目名「日本語コミュニケーション」
総合	総共02	プレゼンテーション	選択	要卒		2	前期	2	30	黒川 マキ	人数超過の場合は抽選。
総合	総情01	情報倫理	選択	要卒		全	前期	2		田尻 良	
総合	総資01	ビジネス文書表現	選択	要卒		全	前期前半	1		上田 玲子 稲葉 さゆり 大崎 梨加 小林 万希子	週2回の授業を履修すること。 指定されたクラスにて履修すること。 「ビジネス実務マナー」をあわせて履修することが望ましい。
総合	総資01	ビジネス実務マナー	選択	要卒		全	前期後半	1		上田 玲子 稲葉 さゆり 大崎 梨加 小林 万希子	週2回の授業を履修すること。 指定されたクラスにて履修すること。 「ビジネス文書表現」をあわせて履修することが望ましい。
総合	総資01	秘書学概論	選択	非要卒		1	後期	2		野山 知子	
総合	総資01	秘書学実務演習Ⅰ	選択	非要卒		1	後期	1		野山 知子	
総合	総資02	秘書学実務演習Ⅱ	選択	非要卒		1	春期	1		野山 知子	「秘書学実務演習Ⅰ」を履修していることが望ましい。
総合	総資01	ビジネス実務概論	選択	要卒		1	後期	2		野山 知子	2024年度以前単位修得者は非要卒科目。
総合	総資01	販売実務	選択	非要卒		全	後期	1		佐藤 悦弘	
総合	総資01	医療事務技能演習	選択	非要卒		全	夏期～後期	2		中川 直子	夏期集中期間より開始。
総合	総資01	登録販売者実務演習	選択	非要卒		全	前期	1		山崎 優香	登録販売者試験受験希望者。前期途中より開講。

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
総合	総資02	FP実務演習Ⅰ	選択	非要卒		全	前期	1		山川 義裕	
総合	総資02	FP実務演習Ⅱ	選択	非要卒		全	後期	1		山川 義裕	
総合	総資02	宅建士実務演習Ⅰ	選択	非要卒		全	前期後半	1		末廣 昭	宅建試験受験希望者。
総合	総資02	宅建士実務演習Ⅱ	選択	非要卒		全	夏期集中	1		末廣 昭	宅建試験受験希望者。
総合	総資02	宅建士実務演習Ⅲ	選択	非要卒		全	夏期～後期前半	1		末廣 昭	宅建試験受験希望者。夏期集中期間から後期前半にかけて開講。
総合	総キ01	就職試験対策(SPI)	選択	非要卒	就職	2	前期前半	1		川島 将希	
総合	総キ01	ホテル・ブライダル業界対策Ⅰ	選択	非要卒	就職	全	夏期集中	1		藤島 久美子 吉田 美樹 中 可子	
総合	総キ02	ホテル・ブライダル業界対策Ⅱ	選択	非要卒	就職	全	後期～春期	1		藤島 久美子 吉田 美樹 中 可子	後期(隔週)～春期集中期間にかけて開講。
総合	総共02	社会活動単位認定制度	選択	要卒		全	前期・後期	1		伏見 康子	参加予定の活動が対象となるか、事前に学生支援課にて確認すること。
総合	総共02	資格取得単位認定制度	選択	要卒		全	前期・後期	1～3		伏見 康子	詳細は履修要項15ページを参照すること。
総合	総キ02	キャリア実践活動単位認定制度	選択	要卒	就職	全	夏期～後期	1		小島 理沙	夏期集中期間より開始。 「キャリアプランニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を履修すること。
総合	総留01	日本事情Ⅰ〈留〉	選択	要卒		1	前期	1		王 培英	一般学生は履修不可。
総合	総留02	異文化コミュニケーション	留：必修	要卒		全	前期	1		行本 則夫	留学生は必修科目。
総合		単位互換	選択	要卒		全					15単位まで認定
総合	総共01	情報と文化	選択	要卒				2			不開講

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
語学	言語00	総合基礎英語	一：必修 留：選択	要卒		1	前期	1		片山 康彦 松田 美樹 加納 葉 平井 清司	一般学生は必修。 入学前（入学時）に実施したTOEIC Bridgeの結果でクラス分けを行う。 指定されたクラスで履修すること。
語学	言語01	英語フォローアップ	選択	要卒		全	後期	1	各30	松田 美樹 平井 清司	特に履修制限はないが、1年前期で「総合基礎英語」のクラスが「イ」「ロ」であった者が本科目の受講を希望する場合は、教科書が変わるので注意すること。 指定されたクラスで履修すること。
語学	言語01	英会話 I	選択	要卒		全	前期	1	22	プライアン	中学校卒業レベルの基礎文法及び語彙力を身に付けていて、さらに実践的な英語コミュニケーション能力の基礎を身に付けたい学生が望ましい。 人数超過の場合は、入学前（入学時）に実施したTOEIC Bridgeの成績を参考に して選考する。
語学	言語02	英会話 II	選択	要卒		全	後期	1	22	プライアン	前期に「英会話 I」を履修していて、さらなる実践的な英語コミュニケーション能力を身に付けたい学生であること。「英会話 I」を履修していない場合は、高校卒業程度の英語力（TOEIC400以上、英検準2級程度）を有し、さらに実践的英語コミュニケーション能力を身につけたいという強い意志があること。履修 学生の学年は問わない。
語学	語資01	TOEIC500	選択	非要卒		1	前期 後期	1	30	片山 康彦	2025年度以降、本学の要卒単位として認定しない。 基礎的な英語力（日本実用英語検定3級～準2級以上のレベル）があり、将来就職や四年制大学編入を目指したりする上でTOEICの試験を受ける可能性がある1年生を対象とする。
語学	語資02	TOEIC600	選択	非要卒		1	後期	1	20	片山 康彦	2025年度以降、本学の要卒単位として認定しない。 1年前期で「TOEIC500」の単位を修得している1年生を対象とする。就職や四年制大学編入を目指す上ではTOEICの試験を受ける必要があり、受講期間中にTOEICの公式試験を受験することが前提の科目。それ以外の履修希望者は、履修登録前に担当者に相談し許可を得ること。
語学	語資03	TOEIC800	選択	非要卒		2	前期	1	20	片山 康彦	2025年度以降、本学の要卒単位として認定しない。 1年生後期で「TOEIC600」の単位を修得している学生を対象とする。将来就職や四年制大学編入を目指す上ではTOEICの試験を受ける必要のある学生が対象。受講期間中にTOEICの公式試験を受験することが前提。
語学	言語02	英語リスニング特講	選択	要卒		1	後期	1	30	片山 康彦	原則として1年生を対象（優先）とする。基礎的な英語力（語彙力、文法力、読解力）があり、リスニング能力も伸ばしたいと感じている学生の受講が望ましい。2年生の受講は履修登録前に担当教員と面談のうえ、許可を受けたものに限る。人数超過の場合は、1年前期の「総合基礎英語」の成績等によって選考する。
語学	言語01	エンジョイ・イングリッシュA	選択	要卒		全	前期	1	45	近藤 嘉宏	人数超過の場合は抽選。
語学	言語01	エンジョイ・イングリッシュB	選択	要卒		全	後期	1	45	近藤 嘉宏	人数超過の場合は抽選。
語学	言語01	基礎中国語 I	選択	要卒		全	前期・後期	1	45	胡 康康	人数超過の場合は抽選。
語学	言語02	基礎中国語 II	選択	要卒		全	後期	1	45	胡 康康	人数超過の場合は抽選。

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
語学	言語01	朝鮮語Ⅰ	選択	要卒		全	前期・後期	1	40	吉川 絢子	人数超過の場合は抽選（履修経験の無い学生を優先します）。
語学	言語02	朝鮮語Ⅱ	選択	要卒		2/1	前期/後期	1	30	吉川 絢子	人数超過の場合は抽選。「朝鮮語Ⅰ」との同時履修は不可。
語学	言語01	ドイツ語Ⅰ	選択	要卒		全	前期・後期	1	45	加納 奨	人数超過の場合は抽選。
語学	言語01	フランス語Ⅰ	選択	要卒		全	前期	1	45	栗野 広雅	人数超過の場合は抽選。
語学	言語02	フランス語Ⅱ	選択	要卒		全	後期	1	45	栗野 広雅	人数超過の場合は抽選。「フランス語Ⅰ」を履修していることが望ましいが、初心者でも意欲のある方ならば歓迎する。
語学	言語02	編入対策英語Ⅰ	選択	非要卒	編入	1	後期	1		片山 康彦	国公立大学や産近佛龍レベル以上の私立大学を一般入試で受験する人（英語の学力試験対策が必要な人）を対象とした科目。特に履修制限はないですが、教材のレベルが高いため、「総合基礎英語」の成績が「A」以上でないとは講義についていくのが難しいことが予想されます。
語学	言語01	ことばと文化	選択	要卒		全	前期	1		山本 晃子	
語学	言語01	日本語Ⅰ〈留〉	留：必修	要卒		1	前期	1		河本 雅一 橋本 憲一	一般学生は履修不可。 指定されたクラスで履修すること。
語学	言語01	日本語Ⅱ〈留〉	留：必修	要卒		1	後期	1		河本 雅一 橋本 憲一	一般学生は履修不可。 指定されたクラスで履修すること。
語学	言語02	日本語Ⅲ〈留〉	留：必修	要卒		2	前期	1		河本 雅一	一般学生は履修不可。
語学	言語02	日本語Ⅳ対策〈留〉	選択	要卒		1	後期	1		河本 雅一	一般学生は履修不可。
語学	言語01	日本語Ⅳ対策〈留〉	選択	要卒		1	夏期～後期	1		橋本 憲一	一般学生は履修不可。JLPT N2未取得学生は必修修。
語学	言語02	キャリア・イングリッシュⅠ	選択	要卒				1			不開講
語学	言語03	キャリア・イングリッシュⅡ	選択	要卒				1			不開講
語学	言語03	編入対策英語Ⅱ	選択	非要卒	編入			1			不開講
語学		ドイツ語Ⅱ	選択	要卒				1			不開講

＜基礎教育科目＞

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	連路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
基礎教育	基情O1	文書処理技能演習	必修	要卒		全	前期・後期	1	各42	内田 由美 岡本 有加	1年生は指定されたクラスで履修すること。
基礎教育	基情O1	表計算技能演習	必修	要卒		全	後期	1	各42	内田 由美 岡本 有加	1年生は指定されたクラスで履修すること。
基礎教育	基情O1	情報処理概論	選択必修	要卒		1	前期・後期	2		小路 真木子 森崎 巧一	
基礎教育	基情O1	アルゴリズムとデータ構造	選択	要卒		1	後期	2		小路 真木子	「プログラミング入門」と同時履修することが望ましい。
基礎教育	基情O1	プログラミング入門	選択	要卒		1	後期	1	40	小路 真木子	原則として「アルゴリズムとデータ構造」を同時履修すること。 人数超過の場合は、以下の学生を優先し、それ以外は抽選とする。 1. 小路ゼミ 2. 情報システムコース 3. 総合デザインコース
基礎教育	基情O1	情報デザイン概論	選択	要卒		1	後期	2	30程度	森崎 巧一	人数超過の場合は、履修登録時に以下の条件で受講者調整を行う。 (コンピュータを活用するため) 森崎ゼミ所属学生を優先します。次に「情報処理概論」「アートとデザイン」のどちらか、もしくは両方を履修し、単位を取得している学生（とくに成績上位の学生）を優先します。
基礎教育	基情O2	ウェブデザインI	選択	要卒		1	後期	2	40	大山口 雅 原 光弘	コンピュータ基本的な操作ができること。 「情報処理概論」の履修が望ましい。
基礎教育	基情O1	経営学総論	選択必修	要卒		1	前期・後期	2		今橋 裕 佐藤 健司 高橋 和志	
基礎教育	基情O1	ソーシャルビジネス概論	選択	要卒		1	前期	2		並木 州太郎	
基礎教育	基情O1	観光概論	選択	要卒		2	前期	2		今橋 裕	2023年度以前入学生は、専門教育科目。
基礎教育	基情O1	現代社会事情	選択	要卒		1	前期	2		藤田 博文	
基礎教育	基情O1	初級簿記	選択必修	要卒		1	前期	3	各50	赤川 泰大 伏見 康子 船橋 充 行本 則夫	人数超過の場合は、事前アンケートにおいて簿記検定受験意欲の高い学生を優先する。
基礎教育	基情O1	簿記入門	選択必修	要卒		1	後期	2		行本 則夫	「経営学総論」の履修が望ましい。
基礎教育	基情O1	簿記特講 I	選択	要卒		1	夏期	1		伏見 康子 船橋 充	下記、いずれかの条件を満たしていること。 ・「初級簿記」を履修しており、その内容を理解していること。 ・全級簿記2級以上を取得しているなど「初級簿記」レベルの知識を有していること。
基礎教育	基情O1	会計学入門	選択	要卒		1	後期	2		伏見 康子	「初級簿記」または「中級簿記Ⅱ」、「経営学総論」の履修が望ましい。
基礎教育	基情O1	ミクロ経済学	選択必修	要卒		1	前期	2		杉生 秀司	
基礎教育	基情O1	金融論	選択	要卒		1	後期	2		高阪 勇毅	2023年度以前入学生は、専門教育科目。
基礎教育	基情O1	心理学	選択	要卒		1	前期・後期	2		岡村 靖人	2023年度以前入学生は、総合科目。
基礎教育	基情O1	時事日本語〈留〉	選択必修	要卒		全	前期	2		行本 則夫	一般学生は履修不可
基礎教育	基情O1	キャリアプランニングI	必修	要卒		1	前期	2		小島 理沙	

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
基礎教育	基キ01	キャリアアブランニングⅡ キャリアアブランニングⅡ（SPI）	選択	要卒	就職	1	後期	2		池田 潔 川島 将希	「キャリアアブランニングⅡ」を履修していることが望ましい。 1年生で就職を希望している方 ※ 編入を希望している方も編入後の就職を考えて履修することは可能。
基礎教育	基キ02	キャリアアブランニング特講	選択	要卒	就職	1	春期	2		藤島 久美子	就職希望者を対象とする。
基礎教育	基キ02	キャリアアブランニングⅢ	選択	要卒	就職	2	通年	2		小島 理沙	「キャリアアブランニングⅠ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。
基礎教育	基共01	基礎ゼミナール	必修	要卒		1	前期	2		※1	入学時に指定された基礎ゼミナールで受講すること。
基礎教育	基共02	ゼミナールⅠ	必修	要卒		1	後期	2		※1	
基礎教育	基共03	ゼミナールⅡ	必修	要卒		2	前期	2		※2	
基礎教育	基共03	ゼミナールⅢ	必修	要卒		2	後期	2		※2	

※1 今橋 裕・岡村靖人・加藤康・小島理沙・佐藤健司・小路真木子・杉生秀司・高橋和志・伏見康子・船橋充・森崎巧一
 ※2 今橋裕・植田憲司・岡村靖人・加藤康・河口和範・高阪勇毅・小島理沙・佐藤健司・小路真木子・高橋和志・伏見康子・森崎巧一

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
専門教育	専情02	システム総合特講Ⅰ	選択	要卒		1	後期	2		大山口 雅	「情報処理概論」を履修していることが望ましい。
専門教育	専情02	システム総合特講Ⅱ	選択	要卒		2	前期	2		大山口 雅	「システム総合特講Ⅰ」を履修していることが望ましい。
専門教育	専情02	情報ネットワーク	選択	要卒		2	前期	2		小路 真木子	「情報処理概論」の単位を修得していることが望ましい。
専門教育	専情02	情報セキュリティ	選択	要卒		2	前期	2		小路 真木子	
専門教育	専情02	プログラミング実践	選択	要卒		2	前期	2	48	大山口 雅	基本的なコンピュータの操作ができること。 「情報処理概論」「アルゴリズムとデータ構造」「プログラミング入門」の履修が望ましい。
専門教育	専情03	データベース論	選択	要卒		2	後期	2	48	大山口 雅	基本的なコンピュータの操作ができること。 「情報処理概論」の履修が望ましい。
専門教育	専情03	システム設計	選択	要卒		2	後期	2	48	大山口 雅	基本的なコンピュータの操作ができること。 「情報処理概論」の履修が望ましい。
専門教育	専情03	感性評価入門	選択	要卒		2	前期	2	30程度	森崎 巧一	旧科目名：「感性心理学」 人数超過の場合は、履修登録時に以下の条件で受講者調整を行う。 (コンピュータを活用するため) 森崎ゼミ所属学生を優先します。次に「情報処理概論」「アートとデザイン」のどちらか、もしくは両方を履修し、単位を取得している学生（とくに成績上位の学生）を優先します。
専門教育	専情02	デジタルデザイン演習Ⅰ	選択	要卒		1	後期	2	各30程度	原 光弘 森崎 巧一	旧科目名：「コンピュータグラフィックスⅠ」 人数超過の場合は、履修登録時に以下の条件で受講者調整を行う。 森崎ゼミ所属学生を優先します。次に「情報処理概論」「アートとデザイン」のどちらか、もしくは両方を履修し、単位を取得している学生（とくに成績上位の学生）を優先します。
専門教育	専情02	メディア表現演習	選択	要卒		1	後期	2	30程度	森崎 巧一	旧科目名：「コンピュータミュージック」 人数超過の場合は、履修登録時に以下の条件で受講者調整を行う。 情報系ゼミ所属学生を優先します。次に以下の「情報処理概論」「アートとデザイン」「デジタルデザイン演習Ⅰ（コンピュータグラフィックス）」「情報デザイン」のどれか（または複数）を履修し、単位を取得している学生（とくに成績上位の学生）を優先します。
専門教育	専情02	メディア論特講	選択	要卒		1	後期	2		植田 憲司	
専門教育	専情03	ウェブデザインⅡ	選択	要卒		2	前期	2	40	原 光弘	「ウェブデザインⅠ」を履修していることが望ましい。
専門教育	専情02	地域企業論	選択	要卒		1	前期	2		加藤 康 高橋 和志	
専門教育	専情02	企業論	選択	要卒		1	後期	2		加藤 康	
専門教育	専情02	経営管理論	選択	要卒		1	後期	2		佐藤 健司	経営管理論の修得に意欲と情熱をもって取り組める人。
専門教育	専情02	マネジメント史	選択	要卒		1	後期	2		佐藤 健司 奥田 茂子	経営学の基本的な理論と経営の歴史に関心を持ち、マネジメント史の修得に意欲と情熱をもって取り組める人。
専門教育	専情03	人的資源管理論	選択	要卒		2	前期	2		佐藤 健司	人的資源管理論の修得に意欲と情熱をもって取り組める人。
専門教育	専情02	経営組織論	選択	要卒		2	前期	2		高橋 和志	「経営学総論」を履修していることが望ましい。
専門教育	専情02	経営戦略論	選択	要卒		2	前期	2		霜永 智弘	
専門教育	専情03	生産管理論	選択	要卒		2	後期	2		今橋 裕	

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
専門教育	専営03	マーケティング論	選択	要卒		2	後期	2		大橋 博一	
専門教育	専営02	流通論	選択	要卒		2	後期	2		霜永 智弘	
専門教育	専営02	地域産業論	選択	要卒		2	後期	2		高橋 和志	
専門教育	専営03	イノベーション論	選択	要卒		2	前期	2		今橋 裕	「経営学総論」を履修していることが望ましい。
専門教育	専営03	国際経営論	選択	要卒		2	後期	2		今橋 裕	「経営学総論」を履修していることが望ましい。
専門教育	専会02	簿記特講Ⅱ	選択	要卒		1	後期前半	1		船橋 充	2023年度以前入学生は、基礎教育科目。 原則として、以下の2つの条件を満たしていること。 1. 「初級簿記」の単位を修得していること、または「初級簿記（日商簿記3級）」相当の知識を有していること。 2. 「簿記特講Ⅰ」の小テストで一定の点数をとっていること。未履修の学生は、実力テストで判断する。
専門教育	専会02	中級簿記Ⅰ	選択必修	要卒		1	後期前半	2		伏見 康子	①「初級簿記」を単位修得し、「簿記特講Ⅰ」「簿記特講Ⅱ」を履修していること。または、日商簿記3級レベルの知識をもっていること。 ②「会計学入門」を同時履修すること。
専門教育	専会02	中級簿記Ⅰ	選択必修	要卒		1	後期後半	2		船橋 充	
専門教育	専会03	中級簿記Ⅱ	選択	要卒		1	後期後半	2		伏見 康子	①「初級簿記」を履修していること。 ②「中級簿記Ⅰ」の履修をしていることが極めて望ましい。
専門教育	専会03	中級簿記Ⅱ	選択	要卒		2	前期	2		船橋 充	※ 履修を妨げるものではないが、「中級簿記Ⅰ」の理解を前提としているため、当該科目の履修をしていない場合は、シラバス記載以上の努力を要する。
専門教育	専会02	工業簿記	選択	要卒		1	後期	2		伊藤 正隆	「初級簿記」を履修していること。
専門教育	専会02	原価計算論	選択	要卒		2	前期	2		伊藤 正隆	「初級簿記」および「工業簿記」を履修していること。
専門教育	専会03	財務会計論	選択	要卒		2	前期	2		伏見 康子	原則として、「会計学入門」を修得し、かつ「初級簿記」または「中級簿記Ⅰ」を修得していること。
専門教育	専会02	財務分析論	選択	要卒		2	前期	2		船橋 充	「経営学総論」「中級簿記Ⅱ」を履修していることが望ましい。 日商簿記2級受験予定者は「中級簿記Ⅱ」との同時履修が望ましい。
専門教育	専会03	税務会計論	選択	要卒		2	後期	2		船橋 充	①「初級簿記」を履修していること。 ②「中級簿記Ⅰ」の履修をしていることが極めて望ましい。 ※ 履修を妨げるものではないが、「中級簿記Ⅰ」の理解を前提としているため、当該科目の履修をしていない場合は、シラバス記載以上の努力を要する。 「会計学入門」「財務分析論」の履修が望ましい。
専門教育	専会03	管理会計論	選択	要卒		2	後期	2		近藤 隆史	管理会計は、経営学とも関連が深いため、「原価計算論」や「工業簿記」の履修の他に、経営学（組織論・戦略論）やマーケティング関連の科目の履修が望ましい。
専門教育	専済01	ファイナンス入門	選択	要卒		1	後期	2		胡 龍瀟	
専門教育	専済01	統計学	選択	要卒		1	後期	2		岡村 靖人	
専門教育	専済01	データ分析	選択	要卒		2	前期	2	35	岡村 靖人	人数を超過した場合は、「統計学」の履修経験があるものを優先する。 以前に「心理統計」もしくは「ビジネス統計」の単位を修得したものは履修できない。
専門教育	専済02	マクロ経済学	選択	要卒		1	後期	2		杉生 秀司	「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」「ミクロ経済学」を履修していることまたは同時履修が望ましい。

分野	ナンバリング	科目名	必修 選択等	卒業 要件	進路	配当 年次	開講 時期	単位 数	制限 人数	担当者	備 考
専門教育	専済02	行動経済学	選択	要卒		2	前期	2		高阪 勇毅	
専門教育	専済03	環境経済学	選択	要卒		2	前期	2		小島 理沙	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」の履修が望ましい。
専門教育	専済02	国際経済学	選択	要卒		2	後期	2		佐藤 悦弘	
専門教育	専営02	経営英書講読Ⅰ	選択	要卒		1	後期	2		加藤 康	
専門教育	専営02	経営英書講読Ⅱ	選択	要卒		2	前期	2		佐藤 健司	経営分野の英書講読に関心を持ち、それに意欲的に取り組もうと思っている人（就労希望・編入学希望の学生）。予習・復習をきちんとする人。
専門教育	専済02	経済英書講読Ⅰ	選択	要卒		1	後期	2		杉生 秀司	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を履修していることがまたは同時履修が望ましい。
専門教育	専済02	経済英書講読Ⅱ	選択	要卒		2	前期	2		胡 韻滂	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済講読Ⅰ」「編入対策英語Ⅰ」を履修していることが望ましい。
専門教育	専心01	社会心理学	選択	要卒		2	前期	2		岡村 靖人	
専門教育	専心01	消費者心理学	選択	要卒		2	後期	2		岡村 靖人	「心理学」あるいは「社会心理学」の履修経験があるものを優先。
専門教育	専実03	プロジェクト演習Ⅰ	選択	要卒		1	前期	1	20	岡村 靖人	初回授業時に説明を聞いた上で履修登録すること。
専門教育	専実03	プロジェクト演習Ⅱ	選択	要卒		1	後期	1	20	岡村 靖人	初回授業時に説明を聞いた上で履修登録すること。
専門教育	専実03	プロジェクト演習Ⅲ	選択	要卒		2	前期	1	20	岡村 靖人	初回授業時に説明を聞いた上で履修登録すること。
専門教育	専実03	プロジェクト演習Ⅳ	選択	要卒		2	後期	1	20	岡村 靖人	初回授業時に説明を聞いた上で履修登録すること。
専門教育	専編02	経営講読Ⅰ	選択	非要卒		1	後期	2		佐藤 健司	経営系科目の履修が望ましい。
専門教育	専編03	経営講読Ⅱ	選択	非要卒		2	前期	2		霜永 智弘	
専門教育	専編02	経済講読Ⅰ	選択	非要卒		1	後期	2		杉生 秀司	「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を履修していること、または同時履修が望ましい。
専門教育	専編03	経済講読Ⅱ	選択	非要卒		2	前期	2		杉生 秀司	「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」「ミクロ経済学」を履修していること、または同時履修が望ましい。
専門教育	専編01	編入対策特講	選択	非要卒		1	後期	1		杉生 秀司 高橋 和志	編入学希望者は必ず履修すること。
専門教育	専編02	編入対策特講Ⅱ（小論文）	選択	非要卒		2	前期	1		奥田 友枝子	「編入対策特講」を履修していることが望ましい。
専門教育	専情02	インタラクティブデザイン	選択	要卒				2			不開講
専門教育	専情03	デジタルデザイン演習Ⅱ	選択	要卒				2			不開講
専門教育	専営02	中小企業論	選択	要卒				2			不開講
専門教育	専営01	ソーシャルデザイン論	選択	要卒				2			不開講
専門教育	専済02	金融市場論	選択	要卒				2			不開講
専門教育	専済02	開発経済学	選択	要卒				2			不開講
専門教育		連結会計論	選択	要卒				2			不開講
専門教育		税務会計論Ⅱ	選択	要卒				2			不開講